

講習会名 にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 主催
新潟大学大学院医歯学総合研究科 共催
嚥下内視鏡講習会

日時 平成 27 年 5 月 10 日（日） 午前 10 時から午後 5 時

場所 新潟大学歯学部

参加者（カッコ内はインストラクタ）

1 班

会田良子先生，田中紀裕先生，渋谷正隆先生（堀 ， 酒井， 氏原， 新川， 有馬）

2 班

廣澤利幸先生，藤田 一先生，伊藤雅之先生（辻村，羽尾，大口，野澤）

3 班

竹内玄太郎先生，木暮ミカ先生，小林秀人先生（辻，神田，保田，高橋，高井）

4 班

泉直也先生，尾崎康子先生，伊予部靖先生（林，船山，佐藤，上原，平澤）

5 班

鹿又真一先生，水野吉広先生，岡田 匠先生（渡邊，上村，河野，鞍立）

見学

小林智美様，上曾山まどか様，園田麻代様，永井正志先生

タイムスケジュール

10:00-10:05 スケジュール説明

10:05-11:05 講義

11:05-11:15

11:15-11:30 PENTAX による機器説明

11:30-12:00 インストラクタによるデモ

12:00-12:15 PENTAX による洗浄デモ

12:15-13:0 昼食

13:00-16:00 相互実習

16:00-16:30 ケース紹介

16:30-17:00 総括

概要

本講習会は、2014年に引き続き、開業医への摂食嚥下リハビリテーション普及を目指す中で、嚥下内視鏡検査を広く知ってもらうことと実際の活用例などを紹介する目的で開催された。当初は、新潟県歯科医師会からの推薦9名を限定とした開催を予定していたが、問い合わせが多数あり、最終的には計15名（見学4名）の参加者となった。また、インストラクタ補助として、昨年度のVE講習会参加者で、その後1年間にわたり新潟大学医歯学総合病院にて研修を行ってきた8名の先生が他にも参加いただいた。

午前中の講義では、新潟大学井上先生から、2014年度の診療報酬改定後の嚥下障害の臨床に関わる嚥下内視鏡検査の位置づけの問題と課題、新潟大学医歯学総合病院での摂食嚥下リハビリテーションの取り組みの紹介や地域医療の中での開業医参入の必要性などについて説明があった。次いで、PENTAXから内視鏡機器説明があり、その後各班に分かれてインストラクタによるデモが行われた。午前の最後にPENTAXによる機器洗浄のデモが行われて昼食となった。

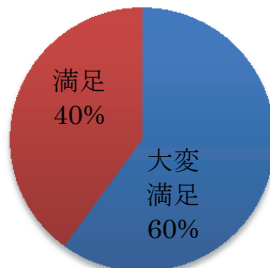
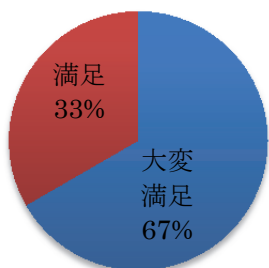
午後の相互実習では、3名を1班として、計5班に分かれてインストラクタの指示のもとで、嚥下内視鏡を用いた装置の操作法から検査に至るまでの相互実習が行われた。基本的な操作方法の確認はもとより、食形態・姿勢・飲み方を変えるなど、実際の検査・訓練場面を想定した実習となった。

相互実習後には、大学病院において嚥下内視鏡検査を取り入れた症例について鈴木先生からの紹介があった。脳外科領域の術後に出現した脳神経症状を伴う症例であり、研修医時代に症例を体験した鈴木先生から詳細なデータ呈示がされた。

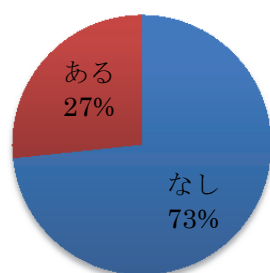
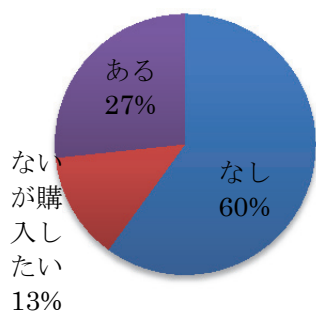
最後に、アンケートを行った後に、摂食嚥下リハビリテーションに関わる今後の参加者、ことに新潟県歯科医師会員の取り組みに対する新潟大学からの支援体制についての説明があり終了となった。

アンケート結果

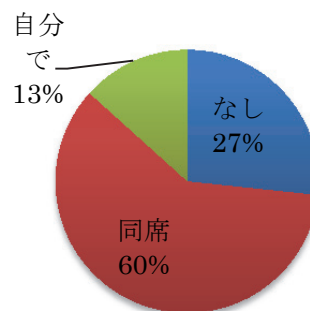
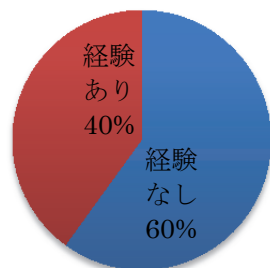
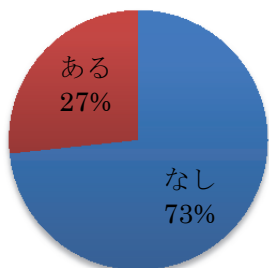
1. 今回の開催場所について (左)
2. 実習内容について (右)



3. 内視鏡をお持ちですか (左)
4. これまでに内視鏡の研修を受けたことはありますか (右)



5. 摂食嚥下の障害の診療経験の有無 (左)
6. 嚥下造影検査の経験の有無 (中)
7. 嚥下内視鏡検査の経験の有無 (右)



本講習会で良かった点をお聞かせください

- ・実習形式で専門の先生より直接指導していただいたのでとても有意義でした
- ・内視鏡検査できてよかった。検査の意義，評価の大切さを同時に学べたのはよかった。
- ・実習に十分な時間をとっていただいて良かった。
- ・実際に内視鏡を触って，使ってみれて良かった。
- ・実物に触れるところがよかった。
- ・感謝の気持ちでいっぱいです。実習に十分時間をとっていただいて丁寧に教えていただきありがとうございます。
- ・VEとVFの使い分けがよくわかりました。実習時間に余裕があつて良かったです。
- ・相互実習
- ・実際に内視鏡をいれたこと。
- ・井上教授の講義，相互実習。
- ・実際に内視鏡の操作の難しさを体験できてよかった。
- ・正しい検査法（今まで教科書を読みながら行っていたが）と正確な評価についてわかりやすく学びました。

本講習会で改善すべきと思われる点をお聞かせください

- ・加齢や障害の程度により機能がどう変化していくか知りたいです。
- ・会場が寒い。
- ・今のままでよい（テストのようなアンケートはない方がよい・・・）。
- ・時間配分
- ・嚥下ができる食形態がわかった後，どのような訓練（直接訓練，どのくらい，どんなもの）をすると食事量を増やせるか（今はゼリーだけど，訓練すれば刻み，ミキサーは可），間接訓練など指導していただける講習会を別の機会に催して欲しい（評価+リハで）。

その他ご意見・ご感想・ご希望をお書き下さい

- ・実習時間も十分だと思うし，大変充実していた。アドバンスコース的な研修があることを期待。
- ・大変勉強になりました。在宅の患者様をみるため，自分に出来ること少しでも身につける目的で受講させていただきました。ありがとうございました。
- ・相互実習を経験できる講習会や研修が非常に少ない。本講習会を以前受講したことで摂食嚥下の理解がとても深まった。歯科医が摂食嚥下に取り組む契機となる講習会になっていると思う。
- ・日曜日の講習会は大変ありがたいです。日常診療ではVEを在宅で行ったりしていますが，なかなか平日大学で研修を受けることができません。撮影した画像の評価（うまくできているか，報告書と相違がないか）していただけるシステムとかあると嬉しいです。

実習風景





